



この街で ごいっしょに

福岡中央銀行

FUKUOKA
CHUO
BANK

2021年3月期
ミニディスクロージャー誌



頭取メッセージ

皆さまには、平素より福岡中央銀行をお引き立ていただき、まことにありがとうございます。

国内経済は、新型コロナウイルス感染症という非常に大きなショックに襲われています。政府による大規模な経済対策の効果はみられるものの、感染再拡大により、景気の先行き不透明感は強まっています。福岡県でも、3度目となる緊急事態宣言が発令され、感染拡大防止と経済回復の両立について模索が続いています。私ども福岡中央銀行としては、このような時こそ、地域の皆さまのお役に立つことが使命であると肝に銘じ、資金繰り支援に止まらず、事業再生や経営支援など幅広いサービスの提供により地域経済の発展に貢献してまいります。

さて、福岡中央銀行は、おかげさまで2021年6月5日をもって創立70周年を迎えることができました。日頃よりご愛顧いただいている地域の皆さまに心より感謝申し上げます。戦後の復興期に殖産無尽会社を母体として創立して以来、一貫して地域社会への貢献を追求してまいりました。経営理念である「福岡県内を営業地盤に中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会とともに発展する」は、時代を超えて変わることのない価値観として今後も堅持してまいります。

2021年4月には、2024年3月までの3年間を計画期間とする第12次中期経営計画「BEST!～ひとりひとりのベストを大きな力に～」をスタートさせました。足元での新型コロナウイルスによる経済への影響に加え、金融緩和の長期化や人口減少・少子高齢化など、地域金融機関を取り巻く環境は厳しさを増しています。また、急速なデジタルイノベーションや異業種の参入などにより、競争は一層激化しています。一方で、金融機関には、時代に即した変革が求められ、SDGs達成への貢献など社会的役割も期待されています。

こうした環境認識を踏まえ、本中期経営計画では、前中期経営計画で掲げた「顧客本位の金融サービスの更なる進化」をより強力に推し進めるとともに、弛まぬ変革に取り組みつつ、ポテンシャルの高い福岡の優位性を活かし、地域のお客さまの課題解決にベストを尽くしてまいります。

そして、長期ビジョンに掲げる「地域になくてはならない銀行」を目指して、一人ひとりのベストが地域の皆さまの大きな満足に繋がっていきまよう役員一同最大限の努力を尽くす所存です。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2021年6月

取締役頭取 **古村 至朗**

経営理念

福岡県内を営業地盤に中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会とともに発展する。

福岡中央銀行の概要

創 立 1951年6月
商 号 株式会社 福岡中央銀行
(THE FUKUOKA CHUO BANK, LTD.)
本店所在地 福岡市中央区大名二丁目12番1号
資本金 40億円
預 金 5,053億円 (譲渡性預金を含む)
貸出金 4,284億円
従業員 473名
店舗数 41店舗 (支店39・出張所2)
(2021年3月31日 現在)

CONTENTS

- 1 頭取メッセージ
- 2 経営理念・福岡中央銀行の概要
- 3 70年のあゆみ
- 5 第11次中期経営計画の振り返り
- 7 第12次中期経営計画
- 9 ふくちゅうぎん 地域貢献
- 11 ふくちゅうぎん Topics
- 13 業績ハイライト
- 15 株式情報

70年のあゆみ



新本店 (1990～)
福岡市中央区大名2丁目



旧本店 (1959～1989)
福岡市大名町96の1
(現 中央区大名2丁目)



旧本店 (1952～1959)
福岡市橋口町46の3
(現 中央区天神4丁目)



この期でごいっしょに70周年

創立70周年
資本金40億円
資金量5,000億円突破

勘定系システムを「BeSTAccloud」へ移行
監査等委員会設置会社へ移行

資金量4,000億円突破

創立50周年

資金量3,000億円突破

資本金25億円

新本店で営業開始

普通銀行転換認可
「株式会社福岡中央銀行」に商号変更

資金量2,000億円突破

資金量1,000億円突破

相銀九州共同オンライン・システム
【現 システムバンキング九州共同センター (SBK)】稼働

創立25周年

福岡証券取引所に株式上場

本店を現在地 (福岡市中央区大名二丁目) に
新築移転

「正金殖産無尽株式会社」から「株式会社正金相互銀行」
に商号変更

第一殖産無尽株式会社・西部殖産無尽株式会社
両社合併して、正金殖産無尽株式会社設立

2021

2020

2019

2008

2001

1995

1993

1990

1989

1988

1978

1977

1976

1968

1959

1952

1951



イメージキャラクター
「ムスポ」(2010～)



シンボルマーク (1989～)



イメージキャラクター
「ふっくん」「あいちゃん」



正金相互銀行時代の社章



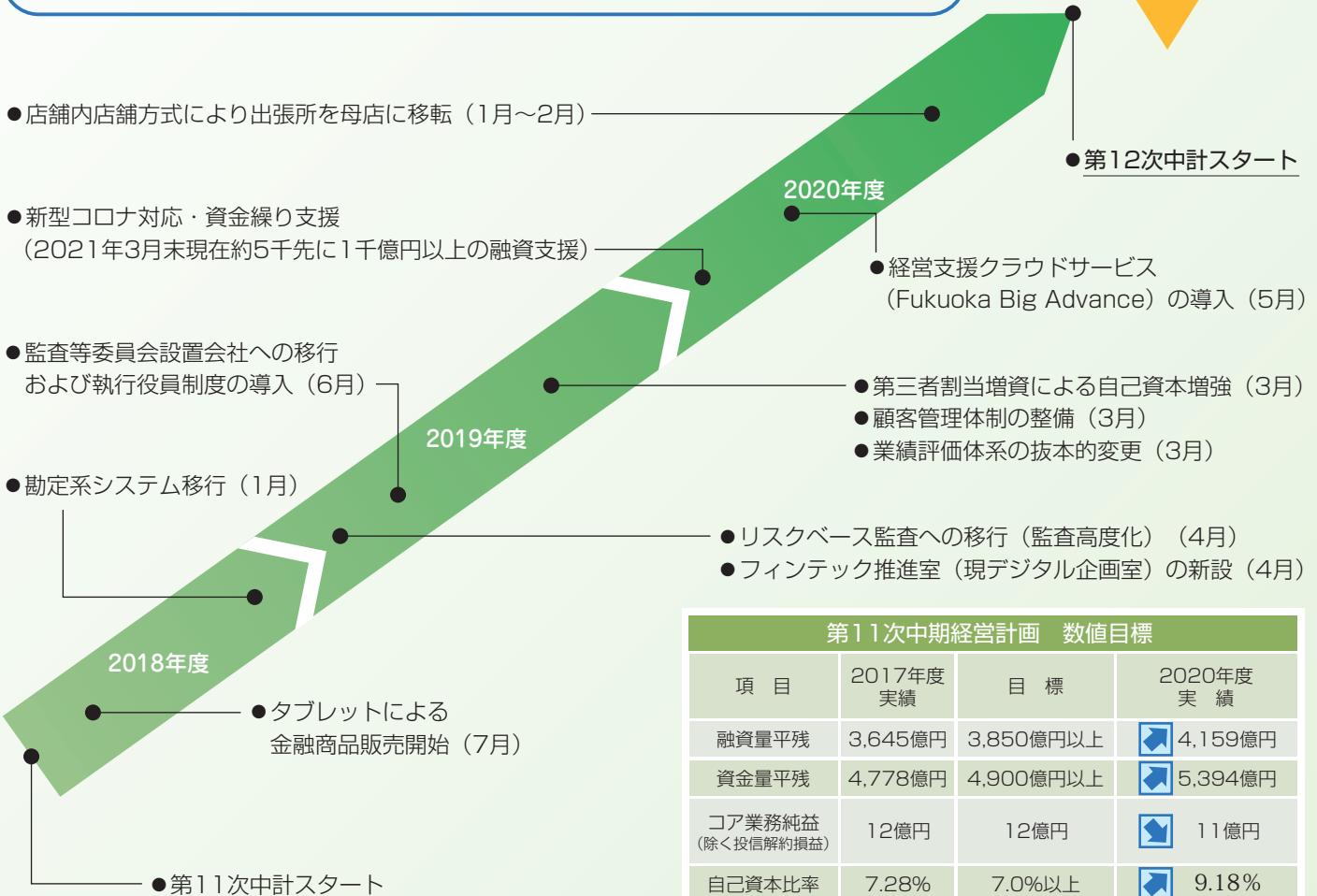
鍛冶町時代の本店営業部
(1951～1952)

第11次中期経営計画（2018年度～2020年度）の振り返り

1. 地元中小企業に寄り添ったサービスの提供
2. 営業基盤の拡大と生産性の向上
3. 人材育成と活気ある組織作り
4. コンプライアンスの順守とガバナンスの強化

自己資本増強や
組織・ガバナンス態勢面は
評価すべき
成果を上げた

《長期ビジョン》
地域になくは
ならない銀行



第11次中期経営計画 数値目標

項目	2017年度 実績	目標	2020年度 実績
融資量平残	3,645億円	3,850億円以上	4,159億円
資金量平残	4,778億円	4,900億円以上	5,394億円
コア業務純益 (除く投信解約損益)	12億円	12億円	11億円
自己資本比率	7.28%	7.0%以上	9.18%
中小企業等向け 貸出残高比率	92.19%	90%台	92.28%

第12次中期経営計画

名称	BEST! ～ひとりひとりのベストを大きな力に～
計画期間	2021.4.1～2024.3.31
名称に込めた想い	一人ひとりがお客さま、地域の皆さまのために全力を尽くしていきたい 小さな銀行であるが、一人ひとりが常に全力を尽くして大きな力にしていきたい という想いを込めました
経営理念	福岡県内を営業地盤に中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会と ともに発展する
長期ビジョン	地域になくてはならない銀行



外部環境	基本コンセプト		項目		2023年度 (中計最終年度)
景気・金融環境	顧客本位の営業スタイルの進化	収益基盤の強化	収益性	当期 純利益	5億円
競争環境					
気候変動	基本戦略		健全性	自己資本 比率	8.5%以上
技術革新					
成長機会	SDGsの理念を各施策に反映	I 構造改革	効率性	コア OHR	83%以下
当行の強み		II チャネル戦略			
福岡のポテンシャル		III 人材・組織戦略			



福岡中央銀行 SDGs宣言

「福岡県内を営業地盤に中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会とともに発展する」という経営理念のもと、地域社会と共に持続的発展を目指します。

重点項目



地域経済の持続的成長

お客さまの多様なニーズに応じた最適な金融サービスの提供により、地域経済の持続的成長に貢献します。



地域環境の保全

環境保全や環境負荷低減につながることへの支援により、持続可能な地域環境の保全に貢献します。



地域社会との共生

SDGsの地域社会への浸透を図るとともに地域のみなさまのSDGsへの取組みを支援し、地域社会との共生に努めます。

福岡県への寄付金付ファンドの取扱い



2021年2月より地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の仕組みを活用した寄付金付投資信託の取扱いを開始し、福岡県に100万円寄付いたしました。

本商品は、ESG（環境・社会・企業統治）の観点から銘柄選定を行い、債券・株式・REITの3資産に分散投資する業界初のESGバランス型投資信託です。



令和2年7月豪雨の災害支援



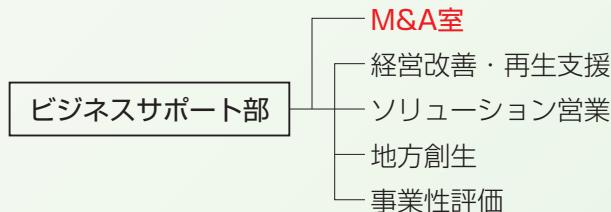
多くの皆さまよりご厚意をいただき、久留米市・大牟田市・日本赤十字社福岡県支部へ合計617,769円を寄付いたしました。

また、福岡中央銀行および役員も総額4,424,579円を久留米市・大牟田市・日本赤十字社福岡県支部に寄付いたしました。

M&A室の新設（2021年4月）



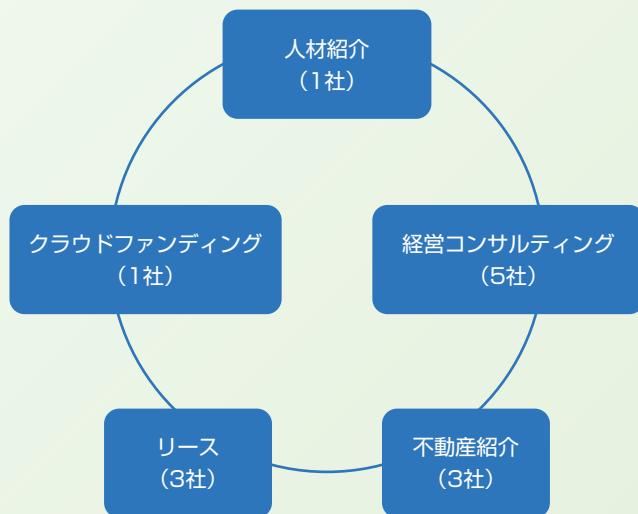
2021年4月、中小企業経営者の高齢化や後継者不足等の課題解決に向けて、ビジネスサポート部内にM&A室を新設いたしました。



外部専門家・外部機関との連携



さまざまな分野の専門家とのビジネスマッチングを図りながら、お客さまの幅広いニーズにお応えしております。（2021年3月現在、66社と業務提携）



（上記のカッコ内は2020年度中の新規提携社数）

■ 新型コロナウイルス感染症対応

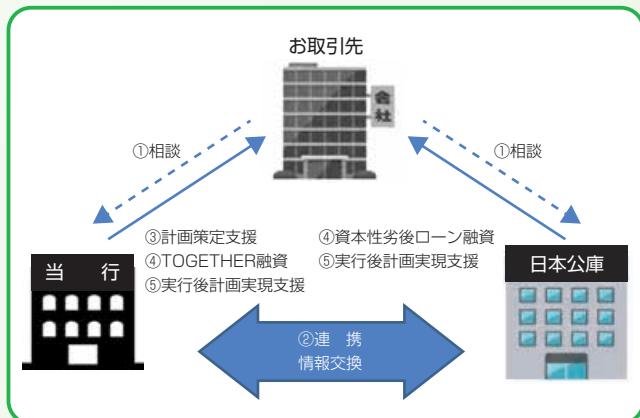
お客さまおよび従業員の安心・安全のため、さまざまな取組みを行っております。



■ 日本公庫との連携商品の発売

日本政策金融公庫が取り扱う「新型コロナ対策資本金劣後ローン」と連携した融資商品「TOGETHER」の取扱いを開始しました。

事業スキーム



■ お振込時間を拡大し、お客さまの利便性を向上

2021年5月6日より、ATMを利用した当行本支店および他行あての振込について、以下の通り即時振込の取扱時間を拡大いたしました。

	振込先	取扱時間*	
		変更前	変更後
平日	本支店あて	8:00~22:00	8:00~23:00
	他行あて	8:00~15:00	
土日祝	本支店あて	8:00~21:00	変更ございません
	他行あて	予約扱い	8:00~21:00

※ご利用できる時間帯は、設置しているATMによって異なります。

■ インターネットバンキングのWeb申込受付の開始

2021年4月26日より、当行ホームページからインターネットバンキングのお申込みができるようになりました。

■ 店舗網の再構築を進めております

効率的な店舗運営と人員等の経営資源の集約により営業力を強化し、お客さまにご満足いただける金融サービスの提供を目的として、2021年より店舗内店舗方式による店舗網の再構築を進めております。

移転日	対象店舗	移転先	TEL
1月12日(火)	室見駅前出張所	西新支店内	092-821-3061
2月8日(月)	大利支店	ひまわり台出張所内	092-925-9771
5月24日(月)	久留米合川支店	久留米支店内	0942-33-7391
6月14日(月)	原支店	七隈支店内	092-862-3871
8月10日(火)(予定)	門司支店	小倉支店内	093-561-4985

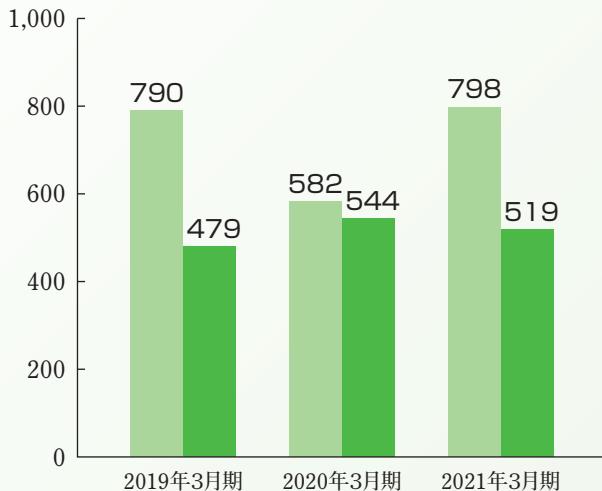
店舗内店舗方式とは、1つの建物内で複数の営業店が営業を行う方式のことをいいます。

店番・店名・口座番号の変更はございませんので、お客さまが現在ご利用されている通帳・証書・キャッシュカード等は、継続してご利用いただけます。

業績ハイライト

■ 経常利益 ■ 当期純利益

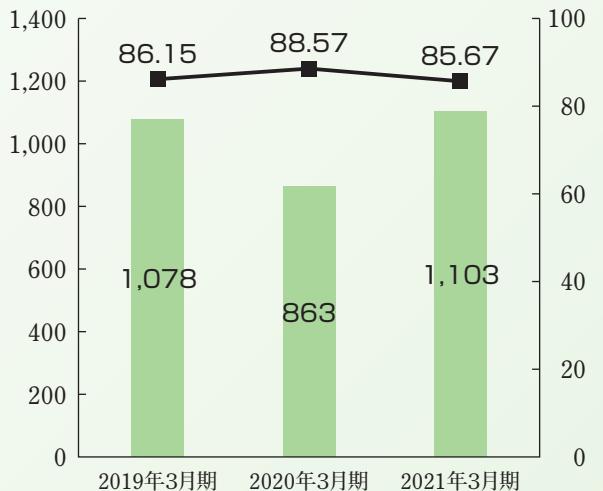
単位：百万円



■ コア業務純益 (除く投信解約損益) ■ コアOHR*

(コア業務純益は左軸、コアOHRは右軸)

単位：百万円

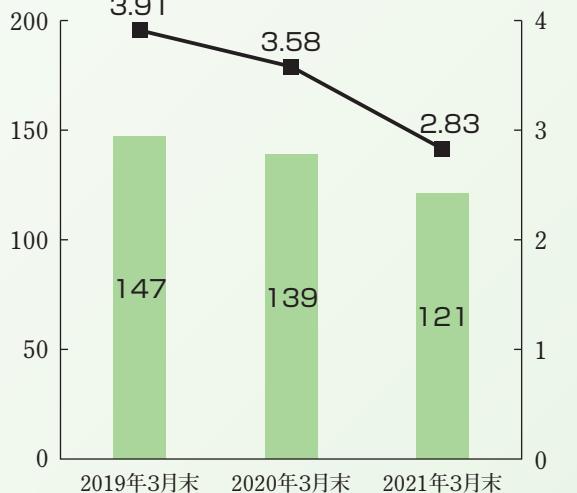


*コアOHR：経費÷業務粗利益(国債等債券関係損益、投信解約損益を除く)

■ 金融再生法開示債権残高 ■ 不良債権比率

(金融再生法開示債権残高は左軸、不良債権比率は右軸)

単位：億円



■ 自己資本 ■ 自己資本比率

(自己資本は左軸、自己資本比率は右軸)

単位：億円



株式情報

株式の状況 (2021年3月31日現在)

	発行可能 株式総数(株)	発行済 株式総数(株)	株主数(人)
普通株式	8,000,000	2,737,160	1,647
第1回A種優先株式	1,000,000	300,000	79
第2回A種優先株式	1,000,000	—	—

株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日
・ 定時株主総会 毎年3月31日
・ 期末配当 毎年3月31日
・ 中間配当 毎年9月30日

上場取引所 福岡証券取引所

証券コード 8540

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

公告の方法
電子公告により当行ホームページに掲載します。
(<https://www.fukuokachuo-bank.co.jp>)
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および福岡市において発行する西日本新聞に掲載します。

普通株式の所有者別状況 (2021年3月31日現在)

